

野田内閣発足に伴う

# 財界緊急FAX調査

—結果概要報告書—

平成23年9月

 甲府商工会議所

## ◆調査要領と概要

1. 調査の目的：野田内閣に対する期待度を定量的に把握すると共に、中小事業所が望む政策を吸いあげ、関係各機関に提言する際の参考資料とする。
2. 調査実施機関：甲府商工会議所
3. 調査実施時期：平成23年9月2日(金)～7日(水)
4. 調査対象：当所会員 290事業所
5. 調査方法：FAX調査
6. 回収数：116
7. 回収率：40.0%
8. 特記事項：原則、小数点以下第二位で四捨五入。

### 【調査のポイント】

7割の財界人が野田首相に(大いに)期待する、という結果となった。

とりわけ、堅実なイメージや発言への信頼感が高く、円滑な国会運営にも期待が寄せられている。一方で、前財務大臣でありながら、政策通であるという評価は低く、人脈を評価する声は皆無であった。

また、内閣に対しては、被災地の復興や円高・株安など喫緊の課題を克服するための迅速かつ実効性の高い対応が求められている。

甲府商工会議所は、今後とも日本商工会議所や行政・報道機関を通じ、経済成長の源泉である中小企業を軸にした成長戦略の具体化について提言していきたい。

## ◆結果詳細

『Q1. 貴方は、野田首相に期待しますか？[択一回答]』という質問に対して、69.8%の事業所が「(大いに) 期待する」と回答しており、「(あまり) 期待しない」の29.3%を大きく上回る結果となった。したがって、財界からの極めて高い期待が伺える。しかしながら、最近の民主党政権への失望感の反動という側面も否めない。一方、期待しない理由としては、閣僚人事への不満や国家ビジョンが不鮮明であることが挙げられる。

『Q2. Q1で“大いに期待する”“期待する”と回答された方に伺います。期待する理由をお聞かせ下さい。[二つ以内]』という質問に対しては、「堅実なイメージがあり、発言に信頼がもてる」が65.5%と最も高く、つづいて「国会運営がスムーズになる(党内融和・野党対応)」が47.6%となった。一方で、「政策通である(財政・経済政策に強い)」は23.8%と伸び悩み、「リーダーシップ~」(6.0%)や「人脈~」(0.0%)にはほとんど期待されていない様子が伺える。したがって、イメージ先行で期待値が押し上げられている面も否定できない。また、「人脈」が全く評価されていない状況にある為、今後の国会運営にも一抹の不安が残る結果となった。

『Q3. 野田内閣に重視してもらいたい政策は何ですか？[三つ以内]』という質問に対しては、「被災地の復興(原発問題の早期収束を含む)」(71.6%)、「円高・株安への対応等、短期の経済政策」(63.8%)など喫緊かつ短期的な課題の克服を求める声が多い。これは、現下の経済情勢のもとでは当然の結果と言えるが、「中小企業支援策の拡充」(33.6%)等各種経済政策を期待する声が多かった。

新政権には、喫緊の課題(震災からの復旧・復興や外為・株式相場の安定)を克服することはもちろんのこと、長期にわたる国家ビジョン(エネルギー・環境問題や経済連携協定、中小企業の育成強化等)を早期に掲げ、持続的な成長を実現する経済基盤を構築してもらいたい。

◆ 『Q1. 貴方は、野田首相に期待しますか？ [択一回答]』


(単位：%)

	全業種
大いに期待する	12.9
期待する	56.9
あまり期待しない	23.3
期待しない	6.0
分からない	0.9

◆ 『Q2. Q1で①②と回答された方に伺います。 期待する理由をお聞かせ下さい。  
[二つ以内]』

(網かけは上位2位、単位：%)


	全業種
リーダーシップがある	6.0
政策通である(財政・経済政策に強い)	23.8
国会運営がスムーズになる(党内融和・野党対応)	47.6
堅実なイメージがあり、発言に信頼がもてる	65.5
人脈が豊富である	0.0
その他	9.5

- 
- ・ 誰であれ政権与党としての責任を果たすべきだから
  - ・ 国会議員や公務員給与の削減に期待
  - ・ 前、前々内閣がだらしなかったから
  - ・ 前首相が最悪だから
  - ・ 再生内閣だから
  - ・ 希望
  - ・ 二世議員ではないから
  - ・ 何となく

◆ 『Q3. 野田内閣に重視してもらいたい政策は何ですか？ [三つ以内]』

(網かけは上位3位、単位：%)

	全業種
被災地の復興（原発問題の早期収束を含む）	71.6
円高・株安への対応等、 <u>短期</u> の経済政策	63.8
自由貿易（TPP等）の推進等、 <u>中長期</u> の経済政策	22.4
社会保障政策（年金等の将来不安の解消）	16.4
一次産業（農業）の振興	4.3
新エネルギー政策（太陽光・風力等）	14.7
外交政策	23.3
行財政改革の推進	27.6
中小企業支援策の拡充	33.6
その他	5.2
不明	1.7

- 
- ・大企業の国外流出の抑止政策
  - ・エネルギー政策
  - ・労働条件の再考
  - ・国会議員定数の削減
  - ・中長期の発展ビジョン

◆ その他の意見・要望

- ・この先の日本はどうなってしまうか心配。
- ・菅—岡田ラインとは違って、輿石氏は野田首相に協調できるのか？山梨県選出なので期待したいのだが・・・。
- ・人事を見てがっかりした。
- ・戦争認識に関する問題発言や財務省の言いなりなど気になる材料もあるので、そうした問題をクリアして頑張ってもらいたい。
- ・東アジアを中心に権益を安定させる為にも、沖縄を中心とした米国との関係を明確にすべきである。
- ・与党内、野党内で協力をはかり、政策を実行していくことを要望する。
- ・国家公務員の給料の取りすぎが問題である。中小零細はトップがまず報酬を下げることを考えるのに、議員の数も多すぎだし、報酬をもらいすぎ。しっかり議論してもらいたい。